

第25回鳥取県U-10サッカー大会 大会要項

- 1：主 旨 子どもたちが大きく成長するためにサッカーの楽しさを知ってもらい、サッカーが大好きな仲間、サッカーファミリーの輪を広げていくことを目的として開催をする。
- 2：名 称 第25回鳥取県U-10サッカー大会
- 3：主 催 一般財団法人鳥取県サッカー協会
- 4：共 催 なし
- 5：主 管 一般財団法人鳥取県サッカー協会第4種委員会
- 6：後 援 なし
- 7：協 賛 なし
- 8：協 力 一般財団法人鳥取県サッカー協会第4種委員会東部・中部・西部地区委員
- 9：日 程

東部地区 9月3～4日（土、日）[ヤマホク[®]-ツバ[®]-ク球技場]

中部地区 9月3～4日（土、日）[東郷運動公園多目的広場]

西部地区 9月3～4日（土、日）[鳥取県フットボールセンター-大山]

10：参加資格

- (1)「参加チーム」は、開催実施年度に公益財団法人日本サッカー協会（以下「JFA」）第4種に加盟登録したチーム（以下「加盟チーム」）であること。
- (2) 上記「参加チーム」の構成は、単一または合同からなるチームに限られ、それらの「加盟チーム」は年間を通じて継続的に活動していること。
- (3)「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する小学校4年生以下の選手であること。
- (4) 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者または選手の保護者であること。
- (5)「参加選手」は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。

11：参加チーム

「U-10参加チーム」は、小学校3年生～4年生で構成されたチーム

「U-8参加チーム」は、小学校1年生～2年生で構成されたチーム

12：大会形式

- (1) U-10カテゴリーは、参加チームを 4グループに振り分け1チームにつき5試合を行う。8チームが4ピッチに分かれて試合を行い、毎試合、勝敗によりコートを移動しながら試合を行う。
U-8カテゴリーは、参加チームを 4グループに振り分け1チームにつき5試合を行う。8チームが4ピッチに分かれて試合を行い、毎試合、勝敗によりコートを移動しながら試合を行う。
- (ア) 勝利チームは隣のピッチへ移動し、敗者チームは反対方向のピッチへ移動し次の試合を行う。
- (2) 悪天候等自然条件によって、大会実施が出来ない場合は中止とする。

13：競技規則 JFA競技規則「2021/2022」による。また、以下競技会規定による。

14：競技会規定

- (1) 競技のフィールド：U-10ピッチサイズは原則30m以内×20m以内であること。
U-8ピッチサイズは原則20m以内×15m以内であること。
- (2) 試合球 U-10は少年用4号球、U-8は少年用3号球とする。

(3) 競技者の数

- ① 競技者の数：U-10は 5 名（GK 1名含む）、U-8は 3名（GKは無し）

※U-10 5 人に満たない場合は相手チームも同数に減らして試合を行う。

- ② 交代を行うことができる数：制限なし

※交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。

(4) 役員の数：3 名以内

(5) 交代の手続き：以下

- ① 交代して退く競技者は、フィールドの外に出る。

- ② 交代要員は、交代して退く競技者がフィールドを出たらフィールドに入り、競技者となる。

- ③ 交代はボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。

- ④ 交代は、ピッチマネージャーの承認を得る必要はない。

- ⑤ ゴールキーパーは、ピッチマネージャーに通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。

注) 交代で退く競技者が負傷している場合は、ピッチマネージャーの承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。

(6) テクニカルエリア：設置しない

(7) 競技者の用具：ユニフォーム

一般財団法人鳥取県サッカー協会第4種の「ユニフォームの運用について（通達）」による。

本大会ではビブスの着用も可能とする。ただし、安全に配慮したサイズのものを着用すること。

(8) 試合時間

- ①U-10の試合時間は10分（前後半各5分）とする。

ハーフタイムのインターバル（前半終了から後半開始まで）：原則2分間

- ②U-8の試合時間は10分（前後半各5分）とする。

ハーフタイムのインターバル（前半終了から後半開始まで）：原則2分間

- ③規定の試合時間内に勝敗が決しない場合：チーム代表者のジャンケンによって決定する。

(9) 審判員：審判は配置せずピッチマネージャーを1名配置する。

ピッチマネージャーは参加チームの引率指導者が相互に行う。

ピッチマネージャーの役割（帯同指導者が相互に実施）

- ・ 試合の安全管理（ケガ時の対応、予備ボールの管理、隣接ピッチからのボール対応等）
- ・ 試合を見守る（選手たちのセルフジャッジや自主性を促す）
- ・ ルールを教える（フェアプレー、リスペクト）
- ・ 試合前、試合後のあいさつを促す
- ・ ポジティブな働きかけや関わりをもつ（チャレンジを促す、褒めるなど）
- ・ 危険なプレーのみファウルとしフリーキックを行う
- ・ 次のゲームへの誘導
- ・ 試合開始、終了のホイッスルは本部から統一発出

(10) その他

U-10：タッチラインを超えた場合は、キックインまたはドリブルインで再開。
間接フリーキックの場合は、相手チームは3m以上離れる。
得点後のリスタートはキックオフとする。
GKのセーブ（キャッチ）後は、パントキック無し。
（スロー・置いてキック・ドリブル等で再開）
オフサイドは無し。
キックオフシュートは無し。
ゴールキック（キックインまたはドリブルイン）は相手がハーフラインまで下がってから行う。

U-8：タッチラインを超えた場合は、キックインまたはドリブルインで再開。
間接フリーキックの場合は、相手チームは3m以上離れる。
得点後のリスタートはキックオフとする。
オフサイドは無し。
キックオフシュートは無し。
ゴールキック（キックインまたはドリブルイン）は相手がハーフラインまで下がってから行う。

15：懲罰

- (1) 本大会は、本協会「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。
- (2) 大会規律委員会の委員長は当協会第4種委員長とする。
委員は3名以上とし副委員長と審判委員長とし、委員長が任命決定する。
- (3) 本協会諸規程および本記載事項にない事例に関しては、大会規律委員会にて決定する。

16：大会参加申込

- (1) U-10：1チームあたり 選手5名以上、ピッチマネージャーを含む役員3名までとする。
U-8：1チームあたり 選手3名以上、ピッチマネージャーを含む役員3名までとする。
- (2) 参加チームは、所定の用紙に必要事項を記入の上、大会担当者へメール等で送付すること。

17：参加料 なし

18：選手証 必須としない。

19：表彰 なし

20：交通・宿泊 各チームにて対応すること。

21：傷害保険 チームの責任において傷害保険に加入すること。

22：応急処置 大会開催中に疾病・障害が発生した場合、大会側は応急処置のみを行うものとする。

23：その他

(1)会場使用については、会場責任者に説明を受け、マナーを守って使用すること。

(2)本要項で掲載されていない事項や不測の事態が起こった際には、第4種委員会にて協議し決定する。

(3) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の感染防止対策として参加チームはそれぞれ感染対策責任者を設置。また、新型コロナウイルス対応版チェックリスト（大会参加チーム用）及び健康チェックシートにより、大会参加中の新型コロナウイルス対応をするとともに、大会時に感染があった場合の濃厚接触者が確認出来るようにすること。